

琉球玩具 通信

No. 7

2026.07.25.

琉球玩具に関する情報交換と記録の広場

目 次

トピアリーフィッシュを作ってみよう.....與儀 誠一.....1
リーフクラフトを八重山の新しい文化に！ー⑥
カエルの編み方.....谷崎 樹生.....3

身近な植物で草玩具を作ろうー⑥.....西平 守孝.....6

トピアリーフィッシュを作ってみよう

與儀 誠一

トピアリーは庭木を思うように整形して動物などに似た形にしたもののことで、多くの庭で見ることができます。玩具作りは更に小さなものになりますが、トピアリーに倣って野菜や果物あるいは植物の葉などを使い、思い思いに整形して同じようにサカナの形に仕上げたものを、ここではトピアリーフィッシュと呼ぶことにしたいと思います。そのようにして、トピアリーフィッシュを作ってみましたので、それらのいくつかを紹介し、皆さんも同じようにして遊んでみてはいかがでしょうかと紹介します。玩具作りの遊び方の一つとしてお披露目したいと思いますので、どうぞ近くにあるさまざまな植物のさまざまな部分を使って、トピアリーフィッシュを作ってみてください。

1) さまざまなトピアリーフィッシュ

さまざまな野菜や果物などの植物を使って作った、トピアリーフィッシュをいくつか紹介したいと思います。手元にある野菜などを調理する前に作ってみてはいかがでしょうか。そういえば、料理にも似たようなものがいくつかあることに気づくことでしょう。

① 野菜のトピアリーフィッシュ

まずは手近なところにある野菜を使ってトピアリーフィッシュを作ってみましょう。さまざまな野菜の部分や色や風合いを活かして、面白いものを作ることができるでしょう。チャレンジしてみてください。



ナーペーラー(上)とゴーヤー(下)



左: チンアナゴ(ナーペーラー);
右: 同(下部をトリミングして整形したもの)



サカナ(ゴーヤー+ゼンマイの目)



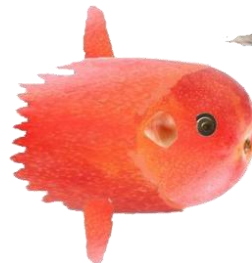
サカナ(マンゴウの種子)

② 果物のトピアリーフィッシュ

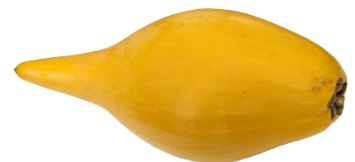
果物を使って、その一部や全部をつかってトピアリーフィッシュを作ることができるでしょう。さまざまな色の果物やその皮などを使えば、面白いものができるのではないのでしょうか。アイデア次第で大きく広げることができると思いますので、チャレンジしてみましょう。



マンゴウ



マンボウ(マンゴウ+ゼンマイ)



カニステル

③ 組み合わせたトピアリーフィッシュ

異なる材料を使って、さまざまに組み合わせることによって、好きなサカナを作ってみましょう。組み合わせるものによって、面白いサカナも作ることができるでしょうから、さまざまなサカナに挑戦してみたいでしょう。

④ 木の葉のトピアリーフィッシュ

木の葉のように、どこにでもあるものでトピアリーフィッシュを作ってみましょう。サカナの胴と頭の部分を一枚の葉で作し、背びれや胸びれおよび尾びれなどを別に作って貼り付けければ、いろいろなサカナを作ることができるでしょう。さまざまなサカナを作って、遊びましょう。

*マンゴウにかぶれる人は、マンゴウを使う際注意しましょう



クジラ（カニステルの種子+ゴーヤー）



マンゴウの葉のサカナ

2) トピアリーフィッシュで遊ぼう

トピアリーフィッシュを作った後に、実際にそれを使って遊んでみましょう。魚は水中にすむ動物ですから、例えばサンゴ礁の海でさまざまなサンゴたちが生育するところを背景にして、群れ遊んでいるサカナたちを配し、動かして遊ぶのもいいかもしれません。素材の多くは生ものですから、作ったものは長持ちしませんので、写真をとってから使うのがよいでしょう。

① サンゴに群れる魚たち

まずは手近なところにある野菜や果物を使ってトピアリーフィッシュを作ってみましょう。野菜や果物の色や風合いを活かして面白いものを作ることができるでしょう。チャレンジしてみてください

② サンゴを背に泳ぐサカナたち

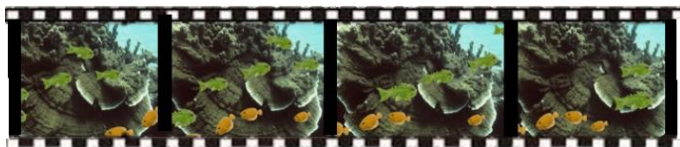
果物の色や形をそのまま活かし、トピアリーフィッシュを作ってみましょう。マンゴウそのものやマンゴウノ種子など、果物の部分をそれぞれに活かしてみるのも面白いでしょう

③ 砂底から体を伸ばすチンアナゴ

細長いナーベラーの形を活かし、太くなった部分をうまくトリミングすれば、細長いトピアリーフィッシュを作ることができるでしょう。砂底の穴から体を伸ばして、流れの上から寄せてくる小さなプランクトンを待ち構える、チンアナゴの群れを作ってみるのも面白いではないでしょうか

④ サカナたちを動かして遊ぶ

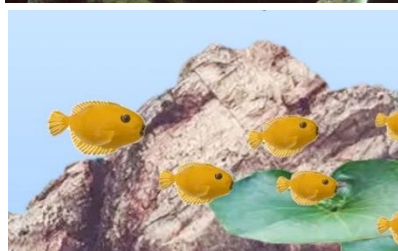
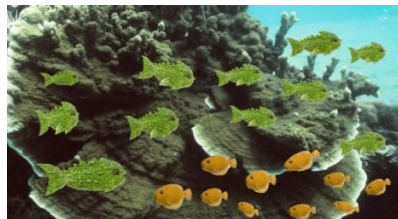
画像をパワーポイントなどで動画にして遊ぶと更に面白いものを作ることができます(上)。あるいは、スマホに取り込んだ画像をホログラムで遊ぶのもよいでしょう。ホログラムの装置は、CDケースなどで簡単に作ることができます(下)ので、作ってみましょう



トピアリーフィッシュを動かして遊ぶ



ホログラムの装置



サンゴ礁で群れ泳ぐ魚たち



砂底から顔を出すチンアナゴ



水槽で泳ぐカニステルのクジラ

よぎ せいいち
那覇市首里崎山町在住

リーフクラフトを八重山の新しい文化に！ー⑦ 鳥の編み方

谷崎 樹生

リーフクラフト作りは、高枝切り鋸でヤエヤマヤシの葉を切るところから始まります。なるべく傷が少ないきれいな葉を選んで切っているつもりですが、地上に切り落としてみると意外と傷んでいることもあります。

葉先がひどく傷んでいる葉では、T レックスやオオトカゲのような尻尾の長いものは編めませんが、無駄にしたいくないので何か編めないかと工夫した結果、完成したのが今回紹介する「鳥」です。尻尾は短く、胴体も最短二段でも鳥らしく編めます。是非編んでみてください。

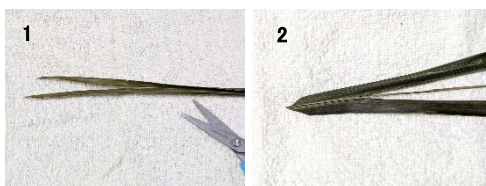


1) 鳥の編み方

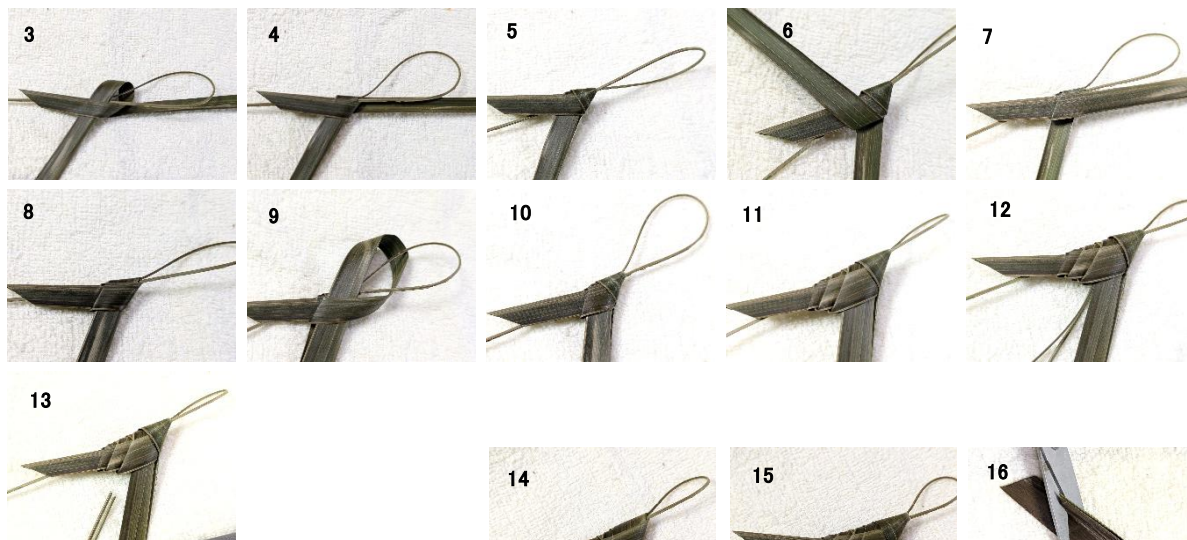
今回取り上げる鳥の編み方を、順を追って説明したいと思います。写真を添えておきますので、焦らずに楽しみながら編んでください。

① まず胴体を編む

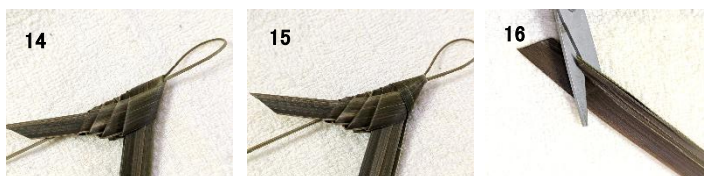
1 葉先は大胆に切り落とします(写真 1, 2)。



2 この葉は長さにゆとりがあったので胴体は4段まで編めそうでしたが、3段目まで編んだところで葉の縁の太い筋の部分切り落とします(写真 3～13)。



3 4段目を編めば胴体は完成です。帯の端を後縁を尖らせるように斜めに切っておきましょう(写真 14～16)。



② 頭部・翼・脚になる帯を切り分ける

4 残った帯を前から 3:2:2 の幅に3分割します。前から1番～3番と呼ぶことにします(写真 17)。



③ 頭部の編み方

5 右側の1番を上後方に折り上げ、肩口から下に通してさらに上前方に折り上げ、1番をすくって軸の輪を通して上へ(写真 18～22)。

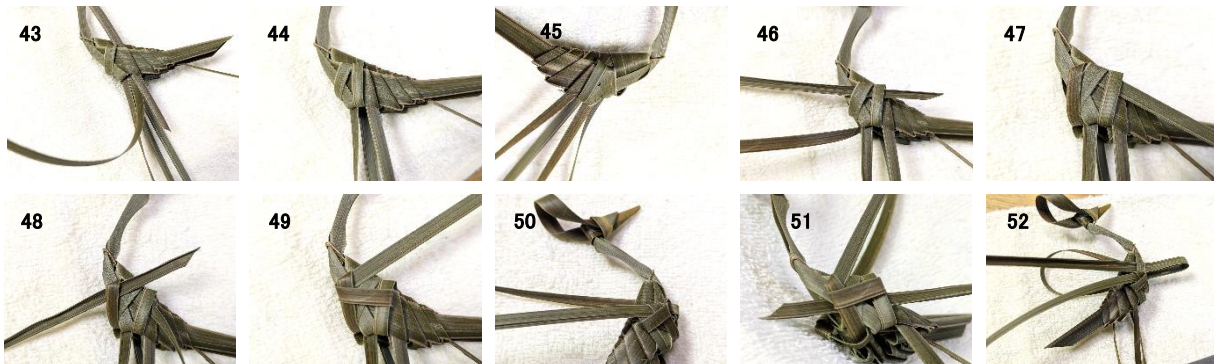


- 6 左側 1番も同様に編み、軸の輪の中で左右の1番を交差させ、後ろに曲げてやや斜め後方へ(写真 23)。
 7 1番を内側前方に曲げ、反対側の1番も同様に包み込むように曲げます。(この辺の微妙な角度の違いで、仕上がりの頭部の表情が全く違ってきますが、これは数をこなさないと理解できないと思います(写真 24~25))。
 8 左右の1番が重なったらズレないようにクリップで止め、一回ずつ結びと頭の位置が決まります(写真 26~30)。
 9 嘴の長さに合わせて左の1番をカット(写真 31)。
 10 右の1番を嘴の先で後ろに曲げ、少し緩めた結び目の左側に通して後方へ(写真 32~33)。
 11 さらに前に曲げ、結び目の右側に通して前方へ(写真 34~35)。
 12 右側上向きに曲げ、もう一度ひねって結び目の左側に通して後方へ(写真 36~37)。
 13 長さにゆとりがあれば、さらにひねって飾り羽にします(写真 38~40)。長さが足りなければ、工程 9で切り落とした帯を使って飾り羽にします。カットして尖らせた1番の端に写真40のように木工用ボンドを付けて右側に差し込みます。
 14 嘴をカットして尖らせ、首の後ろ側を少し削いで細くすれば、頭部は完成です(写真 41~42)。



④ 翼の編み方

- 15 翼は2番で編みますが、先ず左右の3番を上折り上げ、肩口から下へ、付け根の後ろ側に通して脚の位置を決めておきます(写真 43~45)。
 16 右側の2番を前から左側に回し、体側の1番3番をすくって後ろへ(写真 46)。
 17 2番は1番の前でしっかり折り曲げ、折り目の下から通して結び目を作り、翼の付け根の位置を決めます(写真 47~49)。
 18 左側の2番でも同じように編みます(写真50)。
 19 左側の2番を体側の3番1番をすくって前へ、さらに右側の1番をすくって上へ(写真 51~53)。
 20 右側の2番でも同じように編み、ここで左右の翼の大きさを揃えます(写真 54)。
 21 右側の2番を左側の肩口から下へ、左側の3番の内側に沿うよう引き下ろします(写真 55)。
 22 左側の2番でも同じように編み、余分をカットします。ここでお尻から出ている軸もカットしましょう(写真 56~57)。
 23 翼の先を尖らせるように折れば、翼の完成です(写真 58)。





⑤ 脚の編み方

工程15で位置を決めた3番で脚を編みます。

- 24 左側3番を内側後方にV字型に折り上げ脚の長さを決めます(写真 59)。
 25 外側前方に曲げ、結び目を作ります(写真 60~61)。
 26 内側に曲げ、結び目を通して前へ。折り目をつけると、かかとの長さが決まります(写真 62~63)。
 27 内側に曲げてもう一度結び目を通して後ろへ。ループの大きさが指の長さが決まります(写真 64)。
 28 内側斜め前方に折り上げ、脚首の周りを一回回したら下から上へ通して、結び目を作ります(写真 65~66)。
 29 脚の付け根の内側から上へ、背中側に通せば、左脚の完成です(写真 67~68)。
 30 右側3番でも同じように編んで、背中側で余分をカットすれば、編み上がりです(写真 69~70)。



⑥ 仕上げの工程

仕上げの工程

鳥には首・翼・脚と細い部分が多いので、このままでは乾燥が進むとひどく変形してしまいます。そこで、木工用ボンドを爪楊枝の先に付けて、所要所に押し込んで、形を整えクリップで固定して乾燥させたら完成です(写真 71)。

鳥は、嘴の長さや形・首の長さや曲げ方・翼の形・脚の長さ等工夫すれば、さまざまなバリエーションが楽しめます(写真 72~75)。



二本足の作品は乾燥による変形で自立できなくなることが多いので、両脚のくるぶしの結び目を繋ぐようにアーチ状の補強を入れ、木工用ボンドで固定します。

たにぎきしげお
石垣市新川在住

沖縄では多くの川の河口域などの汽水域の泥場に、耐塩性のあるマングローブと呼ばれる一群の植物が生えています。それらの中には数種類の植物が含まれていますが、その中で何種類かのマングローブの実などで、草玩具を作ってみましょう。川のない所でも同様な底質の場所では、マングローブが生育している場所があります。

1) マングローブ (ヒルギの仲間)

河口域のマングローブの何種類かの木で、草玩具を作ってみましょう。実などの特徴をうまく活かせば、他の植物では作ることができないような面白い玩具を作ることができるかもしれません。

① オヒルギ

オヒルギはマングローブ植物の一つで、北限は沖縄島です。平均10枚程の萼片の下に子房があり、いずれも赤く色づいており、金色の花弁とともに胎生種子を持つ植物です。木の周りには、多くの膝を折り曲げたような形の膝根が広がっています

花弁が散った後に萼片+子房を採集し、トントン相撲の遊びに使えるでしょう。オヒルギの場合はメヒルギと違い、胎生種子が発芽した後もこの遊びに使えます。

硬めの箱の上に複数個並べ、箱をトントンと叩いて、どちらか転んだ方が負け、という遊びです



トントン相撲

オヒルギの胎生種子は、赤い子房と萼片が付いたままの状態、太く伸びてきます。この胎生種子でいろいろな玩具を作ることができるでしょうから、工夫して作ってみましょう。ボールペンは胎生種子を使って作ったものです



ボールペン



髪飾り

萼片をヘアピンに貼り付けて髪飾りを作ります



オヒルギ (上:花と萼, 下:胎生種子)

② メヒルギ

メヒルギもマングローブ植物の一つで、北限は鹿児島で、マングローブの中で最も広い分布域を持つ種です。白い花弁が散った後に、5つの萼片の上に実がなり、木に付いたまま発芽して果実を破って幼根が突き出します。これもいわゆる胎生種子の植物です

メヒルギの成熟した胎生種子を使って、ペンを作ってみましょう。

耐性種子を採集し、先端部分を切って乾燥させ、長めのドリルビットを使って胎生種子に長い穴を開けます。そこにボールペンの芯を挿し込んでボンドで止め、ボールペンとして使うことができます



ボールペン



メヒルギとオヒルギの混ったマングローブ湿地



メヒルギ(1:胎生種子, 2:花, 3:萼と子房)



髪飾り

メヒルギの胎生種子が発芽する前に萼片+子房を採集し、そのまままたは乾燥させてピン止めに貼り付け、髪飾りを作ってみましょう

③ ヤエヤマヒルギ

ヤエヤマヒルギもマングローブ植物の一つで、沖縄島まで分布しています。4枚の萼片の上に子房があり、この種もいわゆる胎生種子の植物で、木に付いたまま幼根が発芽して果実から延びてきます。

白い花弁が散った後に採集した場合、トントン相撲の遊びに使えますが、萼片の付き方から前の2種ほど簡単ではないかもしれません



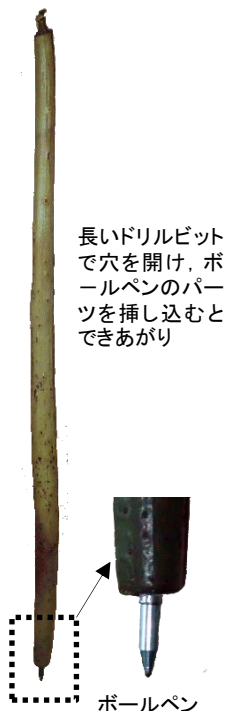
髪飾り



風車の台座と軸



コマ



長いドリルビットで穴を開け、ボールペンのパーツを挿し込むとできあがり

ボールペン



上:ヤエヤマヒルギ、
中:花、下:胎生種子

2) フクギ

フクギは古い集落では、屋敷の周りを取り囲むように密に植えられていることが多く、区画の境界を示すとともに防風・防火の役割を果たしています。大きく育った木の樹皮を煮出して黄色の染料として、紅型を染める際に使われています。根はまっすぐ地中に伸びる直根で、フクギは太木でも接近してたくさん生えることができます。

① 草履

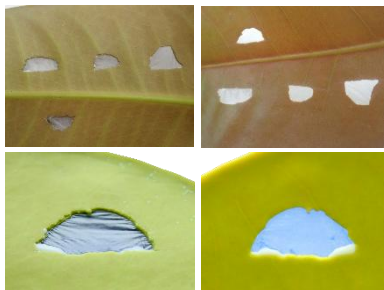
枝の先端からフクギの葉を2枚合わせたまま取り、片方の葉を半分ほど切り取って、スリッパを作って履いて遊びましょう



② 若葉のビービー

フクギの若葉を裏側から一部をつまんで小さく曲げてはぎ取れば、表側の半透明の表皮だけを残すことができます。その部位を葉の表側から唇に当て、息を吹きかければ表皮が振動して音が出ます。ビービーと音を出して遊びます。

裏側の折ったところから白い樹液が出ますので、口に当てるところは葉の表側からにすることを忘れないようにしましょう



③ ギッチラギッチラ

フクギの成葉2枚の内側にフクギのヤニを少々塗り、生乾きの頃を見計らって葉を合わせたり離したりすれば、ヤニがくっついたり剥がれたりする音が「ギッチラギッチラ」と聞こえます。そのように鳴らして遊びます



フクギの成葉にフクギのヤニを塗り、葉を合わせたり離したりして音を出して遊ぶ

柔らかい状態の若い葉を裏側からつまむようにわずかに折り曲げ、表側のクチクラの薄い膜を残して取り除きます。葉の表に唇を当てて息を吹きかけ、音を出して遊びます。裏側の傷の周りには白い樹液が付いているため、唇に触れないように気をつけましょう



上:フクギ、下:若葉

3) シロツメクサ

シロツメグサはクローバーの一つで花は白ですが、花が紫色の別種のムラサキツメクサもクローバーの仲間で、花の色からアカツメクサとも呼ばれます。葉は長い葉柄の先に小葉が3枚付く複葉です。昔からさまざまな草玩具の材料になり、稀に見られる小葉が4枚のものは、四葉のクローバーとして親しまれています。

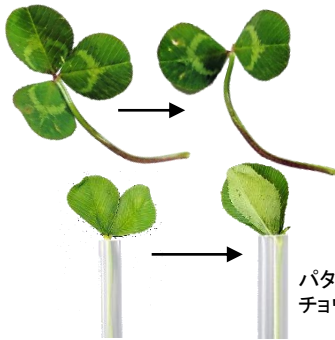
パタパタチョウチョ

作り方:

- ① 3枚の葉のうち1枚を取り外して2枚にする
- ② 2枚の葉を水平に並ぶように指で押えながら整える
- ③ タンポポの茎やストローなど中空のものにカタバミの葉柄を通し、葉柄が管の下から出るようにする

遊び方:

- ① タンポポの茎やストローから、下に飛び出たクローバーの葉柄を引いたり戻したりして、翅を開いたり閉じたりとパタパタ動かして遊ぶ。三出複葉の葉を持つオキザリスやムラサキカタバミでも、同じように遊ぶことができる



管の下に出た葉柄を引いたり押したりして遊ぶ



花冠(輪の大きさによって腕輪など)

パタパタ
チョウチョ

葉柄や花柄を裂いて細くし、互いに絡めて引きあって、切れた方が負けという遊び



引っ張りっこ
(花)



引っ張りっこ
(葉)



シロツメクサ



上:カタバミ(花と実),
下:ムラサキカタバミ

4) カタバミ (+ムラサキカタバミ+オキザリス)

カタバミや園芸用のオキザリスも、雑草で厄介なムラサキカタバミも三出複葉で長い葉柄の先につき、同じ仲間であることが一目でわかります。遊び方も基本的にはシロツメクサの場合と同じです。

5) アメリカハマグルマ

アメリカハマグルマはキク科の植物で、昔から沖縄に生育していた植物ではなく、原産地は中央アメリカで沖縄には50年ほど前に導入されたそうです。今ではいろいろなところで目にすることができるほど、普通の植物として定着しています。主にグランドカバーに使われ、黄色い小さな花を咲かせます。

繁殖力が強く、刈り取った部分からも芽を出して増え、雑草として厄介者や侵略的外来植物にされており、生態系をかく乱する危険があるため駆除の対象として嫌われています。葉は浅く三裂することがあって、ミツバハマグルマと呼ばれることもあるそうです。

① 花の冠

長く地を這うアメリカハマグルマを使って、頭のサイズに合うように環を作り、ところどころに黄色の花がくるようにあしらえば、立派な花冠になります。黄色の花、赤みを帯びた茎、濃い緑の葉など色合いもよく、色彩豊かな冠になることでしょう。サイズを小さくすれば腕輪としても使えます。

雑草があちこちで増えては困りますので、遊び終わったらゴミとしてちゃんと処理するようにしましょう



花冠



アメリカハマグルマ (A:群生, B:花)

② 他の材料と組み合わせる

組み合わせの腕輪

アメリカハマグルマだけで花冠を作ることもできますが、他のさまざまな花と組み合わせることも可能です。アメリカハマグルマだけで作った後に、他の植物と組み合わせる作ってみましょう。きっと面白いものが作れると思いますので、いろいろ試してみましょう。大きい環は花冠に、小さめに作った環は腕輪にしましょう

にしひら もりたか
那覇市首里石嶺町在住